

『医療の懸け橋』 ～ 『日本肝臓論』 & 『真の国際人』 ～

2024年10月17日 韓国ソウルのミョンジ(Myongji)大学での午前、午後2回の講演『がん哲学とがん哲学外来 ～ 真の国際人 ～』にWifeと赴いた(画像)。

『真の国際人』

- (1) 幅の広さ
- (2) 弾力性に富む
- (3) 洞察と識見のひらめき
- (4) 世界の動向を見極めつつ歴史を通して今を見ていく
- (5) 複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、教養を深め、時代を読む

【『日本肝臓論』:肝臓は、再生能力抜群で、3分の2を切っても2週間で元通りになる。異物に対しては寛容性をもつ。日本国も肝臓のような国になれば、世界から尊敬されるという趣旨である。人間の身体と臓器、組織、細胞の役割分担とお互いの非連続性の中の連続性、そして、障害時における全体的な『いたわり』の理解は、世界、国家、民族、人間の在り方への深い洞察へと誘うのであろう。】も述べた。

さらに、「偉大なるお節介症候群」の心得10ヶ条(下記)を語った。

- (1) 役割意識&使命感
- (2) 練られた品性&綽綽たる余裕
- (3) 賢明な寛容さ
- (4) 実例と実行
- (5) 世の流行り廃りに一喜一憂せず、あくせくしない態度
- (6) 軽やかに、そして、ものを楽しむ。自らの強みを基盤とする。
- (7) 新しいことにも、自分の知らないことにも謙虚で、常に前に向かって努力する。
- (8) 行いの美しい人 (a person who does handsome)
- (9) 冗談を実現する胆力～sence of humour の勧め
- (10) ユーモアに溢れ、心優しく、俯瞰的な大局観のある人物

『日韓中の医療の懸け橋』 が制本されることが決定された。歴史的快挙となろう！今回は、大変貴重な『ソウルの訪問』となった。

제11회 메디컬카페 in 서울 【히노 오키오 박사 초청】

2024년 10월 17일(목) 오전 10시~12시

- 장 소: 명지대학교 서울 인문캠퍼스 국제관 4713호 (7층)
 - 예약 및 문의: 010-6630-3353 / 010-6567-5533
- ※ 사전 예약 필수이나 당일 참석도 가능합니다.

메디컬 카페란?

준텐도대학병원에서 근무하던 히노 오키오 박사를 통해 일본에서 시작된 메디컬카페는 의료 현장에서 불안에 떠는 암 환자와 의료진 사이의 간극을 메우기 위해 환자와 그 가족들의 속마음을 듣고 언어 처방전을 전하는 목적으로 "암철학외래"를 개설하였다. 이 활동은 많은 암 환자와 가족들에게 희망이 되었고, 그 활동반경이 확대되어 일본전역에 "암철학외래카페(메디컬카페)"로서 퍼지고 있다.

【히노 오키오(樋野興夫) 박사】

- 1954년 시마네현 출생 의학박사
- 일본 준텐도대학(順天堂大学) 명예교수
- 준텐도대학 의학부 (병리, 종양학) 객원교수
- 사단법인 암철학외래 명예이사장, 케이센여자대학 이사
- 일본 암 연구회 암 연구소, 미국 아인슈타인의과대학 간 연구센터, 미국 Fox Chase Cancer Center 등을 거쳐 현직 활동
- 2002년 암연구회 학술상 수상
- 2003년 타카마쯔 미야히 암연구기금 학술상 수상
- 2018년 아사히 암 대상 수상



【번역저서】

- 질병은 인생의 여름휴가
- 내일 세상을 떠나도 오늘 꽃에 물을 주세요
- 위대한 참견



후 원 :  명지융합헬스케어연구소

2024年 第2回

融合ヘルスケア研 究所 学術祭

<日韓中のセミナー>



テーマ:

東北アジアにおけるヘルシープレジャー
とヘルシーエイジングの適用

1. 韓国- 韓国社会でのヘルシープレジャーとヘルシーエイジ
ングの意味」(Professor Lee Jae-beom)
2. 日本- がん 哲学外来×メディカルカフェの理解と実際
(Dr. Okio Hino)
3. 中国- 北東アジアの健康高齢化のフロンティア探求
:健康と快楽応用の革新と実践
(Dr. GUAN PEIGUO, Professor YIN HONGLAN,
Professor LIANG DONG)

in KOREA
2024.10.17

2th

日時 2024.10.17(木) 午後 2-5時
場所 明知大学人文キャンパス行政棟5階セミナー室



MYONGJI
UNIVERSITY